

令和5年
2/19日
12:30~16:00

会場／佐賀市東与賀農村環境改善センター
対象／どなたでも（小学生以下は保護者同伴）
定員／120名 参加費／無料

市民公開シンポジウム 2023

「筑後川」の役割を考える

あらためて有明海の恵みの源

目的

本事業は、有明海の恵みの源である「筑後川」の働き、有明海の特異な生態系の楽しさ、筑後大堰建設によって発生した課題と解決に向けた努力などを学び、今後の持続的な生態系の保全と利活用の礎とすることを目的とします。

また、東よか干潟ラムサールクラブの子どもたちによる1年間の活動成果発表会を行い、次世代に繋ぐ基盤を強化したいと思います。

プログラム

● 開会挨拶 荒牧 軍治 (NPO法人有明海ぐるりんネット代表理事)

● 基調報告①~③ 12:35~13:25

- ① 筑後川と有明海の特性について(水質・干潟特性)
大串 浩一郎 (佐賀大学工学部理工学科 教授)
- ② 雄が子育てをするトビハゼとムツゴロウ
野間 昌平 (佐賀県水産課)
- ③ 海域によって異なる海苔養殖の条件
川村 嘉応 (佐賀大学農学部 招聘教授)

● 活動成果発表会 13:35~14:20

東よか干潟ラムサールクラブ 「伝えたい 東よか干潟の魅力！」

● 基調報告④~⑥ 14:30~15:05

- ④ 二枚貝復活に向けた取り組みの成果
佃 政則 (佐賀県有明水産振興センター資源研究室係長)
- ⑤ 牡蠣礁の分布状況の変化調査
熊森 昇 (佐賀県有明海再生・自然環境課 技術監)
- ⑥ 筑後大堰建設における対立と解決へ向けた努力
荒牧 軍治 (NPO法人有明海ぐるりんネット代表理事)

● パネルディスカッション 15:15~16:00

「有明海の特異な生態系と漁業の持続可能性を探る」

コーディネーター／荒牧 軍治

パネリスト／大串 浩一郎、野間 昌平、川村 嘉応、佃 政則、熊森 昇



主催：NPO法人有明海ぐるりんネット 後援：佐賀市

会場：佐賀市東与賀農村環境改善センター ≫ 佐賀県佐賀市東与賀町大字田中423-1

お問い合わせ

NPO法人有明海ぐるりんネット MAIL: info-comm@ariakekai-gururin.net

TEL: 090-4774-6611 / FAX: 0952-26-2147

裏面を
ご覧下さい

事前申込み
が必要です